

# 行政評価シート

# [1] グループ

施策情報						
評価対象施策	スポーツを楽しむ環境づくりと健康づくりの推進					
検討テーマ（論点）	市民がスポーツや健康づくりに親しむ身近な環境づくり					
関連する事業名	スポーツ推進委員、スポーツ事業促進助成、学校開放事業運営、オリンピックズキャラバン事業 ウォーキング実践指導ボランティア研修、市民交流ウォーキング大会、ウォーキング推進キャン ペーン事業、健康づくりサポーター等派遣事業					
市民参加ワークショップの意見						
市民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりセンターをもっと利用しやすく（仕事帰りにも行けるように遅い時間まで、利用者にやさしい対応を、利用料金の価格調査など民間のマーケティングを参考に）</li> <li>スポーツ大会などのお知らせがたくさんの人に届かない</li> <li>スポーツ施設に通うのに交通費がかかる</li> </ul>					
	学校開放事業運営	オリンピックズキャラバン事業	市民交流ウォーキング大会	ウォーキング推進キャンペーン事業	健康づくりサポーター等派遣事業	その他
事業の評価：良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な施設を安く利用できるのは良い</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>マップはとても良い</li> <li>各区のマップもHPにあって便利</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>冬季オリンピックは市民にとって大きな刺激になった</li> <li>公園などに快適に整備されたウォーキングコースがある</li> <li>ウインタースポーツにかかる費用が高い</li> </ul>
事業の評価：問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>同じグループが押さえていてなかなか予約が取れない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内会や体育振興会のイベントだけでは人数が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加できる人数が少ない</li> <li>どこで初心者向けのイベントをやっているか情報が足りない</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>若い人のグループへの派遣が少ない</li> </ul>	
事業への提案：改善提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ推進委員は公募制にし、年代・性別を区切って募集し、地域で「健康寿命を延ばそう」というムーブメントの担い手に（スポーツ推進委員専門の部署があっても良いのでは？）</li> <li>地下鉄階段のメッセージを改札から出入口にも入れる。食べ物に換算したカロリー表示もしては？</li> </ul>					
テーマに関連したその他の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりセンターの運営は定員や料金など民間のマーケティング手法に学び、1回無料券を市民に配布するなど、裾野を広げる工夫を。</li> <li>区単位で特色をもった健康づくりの推進をして、ウォーキングの仲間づくりの手助けも区でやってほしい。</li> <li>区などもう少し小さな単位でも市職員と市民が直接話せる場（ワークショップなど）を開催してほしい。</li> <li>札幌は健康寿命の長いまちというイメージを持ってもらう。そのために他市町村に学ぶ、他国に学ぶ。若い人が健康寿命について同世代や高齢世代と話せる場を！授業でも。</li> </ul>					
テーマに関連した協働の視点からの市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員と市民が直接話せる場（ワークショップなど）で声を届ける。</li> <li>スポーツ推進委員に色々な世代の人がなって、地域の健康づくりを盛り上げていく。</li> </ul>					

# 行政評価シート

## [2] グループ

### 施策情報

評価対象施策	スポーツを楽しむ環境づくりと健康づくりの推進
検討テーマ(論点)	市民がスポーツや健康づくりに親しむ身近な環境づくり
関連する事業名	スポーツ推進委員、スポーツ事業促進助成、学校開放事業運営、オリンピックズキャラバン事業 ウォーキング実践指導ボランティア研修、市民交流ウォーキング大会、ウォーキング推進キャンペーン事業、健康づくりサポーター等派遣事業

### 市民参加ワークショップの意見

市民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動できる施設や環境がある反面、運動する機会が少ない</li> <li>・特に若い人には「健康づくり」という意識があまり無い</li> <li>・1人では運動しにくいいため、運動するきっかけとなるような取組が必要</li> <li>・健康づくりの取組を行っている団体が継続できるような支援が必要</li> <li>・運動していない人の掘り起こし策や病院からの予防的なアプローチも必要</li> <li>・「仲間と楽しく体を動かすと、体も心も健康になる！」というPRを、もっとしていくと良い</li> </ul>
---------------	---

	スポーツ推進委員	スポーツ事業促進助成	学校開放事業運営	オリンピックズキャラバン事業	ウォーキング実践指導ボランティア研修	市民交流ウォーキング大会	ウォーキング推進キャンペーン事業	健康づくりサポーター等派遣事業	その他
事業の評価：良い点	・知名度が上がる	・アスリート育成に重要で、子ども達に恩恵がある	・誰でも利用できる	・トップアスリートへの興味・関心につながる			・身近で取組みやすい		・ウォーキングは身近で取組みやすい題材
事業の評価：問題点	・もっと市民に身近な活動を	・利用しやすい料金に(特にスキー場) ・マンネリ化 ・自然に親しむ視点を含めた事業支援を	・プール開放の日数が少ない ・運営を継続拡大できるか	・知名度が低い	・活躍する場が少ない	・回数を増やして、様々な年代が参加できるように	・ウォーキングマップがどこでももらえるかわからない	・派遣実績が少ない	・身近に感じられる事業が少ない

事業への提案：改善提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校開放事業の中で、プール開放の日数を増やしてもっと気軽に利用できるようにする。また、現在PTAが行っている監視員は地域のボランティアを育成するなど、体制を強化する。</li> <li>・ウォーキング推進キャンペーンの中で、地下鉄階段のような距離やカロリーなどの表示をチカホにも表示する。</li> <li>・札幌市や区役所の職員の方々へ、ウォーキングイベントやスポーツイベントへの参加を促す。</li> </ul>
-------------	--

テーマに関連したその他の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツや健康づくりに主体的に取り組む人を増やす。地域や町内会単位以外でも取り組める場所があると良い。(スポーツ経験が少ない人や、レベルが高くない人も)</li> <li>・運動とプラスα(食や施設見学など)を楽しめるツアーなどの取組が行われるよう支援する。</li> <li>・若い人がオシャレに参加できる朝活を推進する。たとえば、北3条広場でヨガをして、オープンテラスで朝食など。様々な場所で行われるようになると良い。</li> <li>・広報さっぽろにもスポーツを楽しむ市民の取組やコラムが紹介されると良い。</li> </ul>
----------------	--

テーマに関連した協働の視点からの市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な人に話すなど、スポーツの楽しさを伝え、広める。</li> <li>・出来る範囲でスポーツや健康づくりの取組に関わる。いろいろなレベルに合わせて負担無く関わられるようにする。</li> </ul>
-----------------------	--

# 行政評価シート

# [3] グループ

## 施策情報

評価対象施策	スポーツを楽しむ環境づくりと健康づくりの推進
検討テーマ(論点)	市民がスポーツや健康づくりに親しむ身近な環境づくり
関連する事業名	スポーツ推進委員、スポーツ事業促進助成、学校開放事業運営、オリンピックズキャラバン事業 ウォーキング実践指導ボランティア研修、市民交流ウォーキング大会、ウォーキング推進キャンペーン事業、健康づくりサポーター等派遣事業

## 市民参加ワークショップの意見

市民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動が「できない」「してない」方の理由に着目した支援が必要である</li> <li>・子育て世帯が「楽しく」「ポジティブに」運動していると実感できる機会づくりが大切である</li> <li>・意識づくり、モチベーション、気持ちの余裕をどう作るかが大切である</li> <li>・健康づくりに関する情報の受け手が受けとりやすい工夫があるとよい</li> <li>・一緒に参加できる仲間がいるとよい</li> <li>・健康づくりの前提として、医療的支援が受けられない人への対応の充実も並行する</li> </ul>
---------------	--

	スポーツ推進委員	スポーツ事業促進助成	学校開放事業運営	オリンピックズキャラバン事業	ウォーキング実践指導ボランティア研修	市民交流ウォーキング大会	ウォーキング推進キャンペーン事業	健康づくりサポーター等派遣事業	その他
事業の評価：良い点	・地域向け運動イベントを企画してくれている	・横のつながりをつくるスポーツ振興を支援している	・地域の拠点である学校で健康づくりができる	・本物に会える ・地域レベルのイベントで活用できる事業	・開催継続のために負担が軽くなる ・運営方法を研修すればよい	・市民主体で運営している	・わかりやすく健康を意識するきっかけになる		・スポーツや健康づくりに関する事業を重点的に進めている印象がない
事業の評価：問題点	・身の回りの委員を知らない	・助成条件が厳しい ・申請が大変だがメリットが少ない	・特定な団体しか使えない印象がある	・あまり活用されていない	・受講者が少ないのではないのか	・参加者が少ないのではないのか	・マップが知られていないのが残念	・食事による健康づくりの視点が足りない	

事業への提案：改善提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・&lt;健康づくりサポーター等派遣事業&gt; 運動のステップアップのトータルコーディネートを支援する仕組みがあると良い！</li> <li>※一度運動したが、その後「何をしたらよいかわからない」から続かない</li> <li>※既存活動団体の情報も提供したり、活動団体をつなぐ健康づくりの「ハブ役」をつくる</li> <li>※サポーターを増やす、サポーターを選択できる、サポーターの家(拠点)</li> <li>・&lt;ウォーキング事業&gt; ウォーキングの「事後」の効果を生「生の声」としてPRする。</li> <li>※事後の効果フォローするアンケートを実施して生の声を集める(定期的)&gt;終了直後のアンケート</li> <li>※「産後ダイエットになった」「病院に行く回数減った」など人を惹き付けるメッセージでPR</li> </ul>
-------------	---

テーマに関連したその他の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりに関する情報提供の方法に工夫とバリエーションを！</li> <li>※郵便・タウン誌、WEB、SNS、アプリ、媒体、ラジオなどを活用する</li> <li>※登録制などを活用して興味分野や内容が届く仕組みをつくる</li> <li>・拠点施設も大切だけど、身近な場所の健康づくりスポットを増やす</li> <li>※例：バス停・小さな公園の健康遊具</li> <li>・事業成果の「わかりやすい指標」と、成果報告の方法を工夫すると市民も評価しやすい！！</li> <li>・健康づくりに力をいれている企業がメリットがあるような仕組みづくり(認定など)を整える！</li> <li>※社員向け、地域向けに取り組む企業</li> <li>※ポイント制度の導入！(限定品がもらえる、割引される)</li> <li>・「運動ですよ運動」を民間と協力して展開！</li> <li>※買物などの日常行動が運動になることへの気づきを！</li> <li>※例：お店一周で何kcalという表示</li> <li>・多世代、色々なライフスタイルの方が集まり健康や運動について話し合える今日のような場を！</li> </ul>
----------------	--

テーマに関連した協働の視点からの市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくりサポーター制度をもっとうまく活用しよう！</li> <li>※町内会単位、マンション単位で活用する。すこやかクラブと連携する</li> </ul>
-----------------------	--

# 行政評価シート

# [4] グループ

## 施策情報

評価対象施策	スポーツを楽しむ環境づくりと健康づくりの推進
検討テーマ(論点)	市民がスポーツや健康づくりに親しむ身近な環境づくり
関連する事業名	スポーツ推進委員、スポーツ事業促進助成、学校開放事業運営、オリンピックズキャラバン事業 ウォーキング実践指導ボランティア研修、市民交流ウォーキング大会、ウォーキング推進キャンペーン事業、健康づくりサポーター等派遣事業

## 市民参加ワークショップの意見

市民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がスポーツをする上での支えとなる施設・情報提供が必要</li> <li>・公園で球技が不可など、近隣に子どもが遊べる場所が少なくなっている</li> <li>・スポーツ施設の利用にお金がかかる</li> <li>・「スポーツイベント」は気軽さがなく、市民にとってなかなか自分ごととならない</li> <li>・イベントや講座など、情報をどこで得られるか把握しないと参加できない</li> <li>・町内会等小さな単位でのスポーツイベント情報を多くの住民が把握できていない</li> </ul>
---------------	--

	スポーツ推進委員	学校開放事業運営	オリンピックズキャラバン事業	ウォーキング実践指導ボランティア研修	市民交流ウォーキング大会	ウォーキング推進キャンペーン事業	健康づくりサポーター等派遣事業	その他
事業の評価：良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員がいることにより様々な企画が成り立っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方が実際に活用している</li> <li>・スポーツに興味のある方が使用している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロの選手と触れ合える機会は必要であり、継続してほしい</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキングを通じ、各区の見どころを知れる点が良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・階段のカロリー表示はとてもよい取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良い取り組みなので、もっと事業を拡大してほしい</li> </ul>	
事業の評価：問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民に知らていない</li> <li>・若い人が少ない</li> <li>・人材不足が知られていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申し込みが面倒</li> <li>・会場が抽選で遠方だと困る</li> <li>・校庭も使用できるとよい</li> <li>・特定の人が使用している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャンプなどやや特殊な競技での派遣が難しそう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代の参加が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人気があり先着順の為、参加できない人が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下鉄駅全駅に設置してほしい</li> <li>・記載内容が更新されないと飽きてしまう</li> <li>・まち中での実施はないのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周知不足がもったいない</li> <li>・多くの町内会が取り組みを知らないのではないか</li> <li>・サポーターの人数を増やしてほしい</li> </ul>	

事業への提案：改善提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の不足に対応するために、体育系の大学とコラボして学生を活用しよう！（※単位を与えてあげたら学生にとってもウマミあり！）</li> <li>・学校開放事業の場所の不足に対応するために、グラウンドや廃校・空き施設などを活用しよう！ →子どもが安心して遊べるよう、見守りをシニア世代（地域の方）等に任せる！</li> <li>・ウォーキング大会や札幌マラソン等に市民が平等に参加できるよう、開催回数を増やそう！</li> <li>・上を歩くと発電する「発電マット」を企業とコラボレーションで設置する、市民に募集して階段にメッセージを設置するなど、楽しく健康のために階段を歩いてもらう仕組みを作ろう！</li> </ul>
-------------	---

テーマに関連したその他の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民1人1人が持つ札幌市発行の「健康手帳」をつくり、スポーツイベント等のスケジュール管理、健康の目安等を管理できるようにし、企業コラボでポイント集めもできるようにしよう！</li> <li>・「スポーツ」をスポーツ事業に留まらず、人口減少、少子化対策、政策づくり等、様々な事業や考え方などで大きく捉え、活用していこう！</li> </ul>
----------------	--

テーマに関連した協働の視点からの市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半径500mくらいで誰でも訪れ参加できるコミュニティづくりを進めよう！（既存施設（区民センター、地区センター、地区会館など）の活用も）</li> <li>・市民側で自発的にスポーツに参加する意識づくりを進めよう！</li> <li>・「スポーツ」を通じて、シニア世代と若い世代が共に支えあえる相互の関係づくりを進めよう！</li> </ul>
-----------------------	---

# 行政評価シート

# [5] グループ

## 施策情報

評価対象施策	ウィンタースポーツの活性化について
検討テーマ(論点)	市民がウィンタースポーツにもっと親しむ環境づくり
関連する事業名	ノルディックスキー札幌大会記念ウィンタースポーツ活性化事業、地域スポーツマスター活用事業、カーリング普及事業

## 市民参加ワークショップの意見

市民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が不足しており、基礎の技術が習得できず、楽しめない</li> <li>・気軽に行って活用できそうな場所が活用されていない</li> <li>・道具を揃える費用が高く、また、どの道具が適しているかわからない</li> <li>・冬に体を動かすモチベーションづくりが不足している</li> <li>・雪遊びや雪かきなど、遊びを活用する視点が大切</li> <li>・取組のPRが不足している</li> <li>・施設の利用料金や交通費が高い</li> </ul>
---------------	--

	ノルディックスキー札幌大会記念ウィンタースポーツ活性化事業	地域スポーツマスター活用事業	カーリング普及事業	その他
事業の評価：良い点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年実施が底辺拡大になる</li> <li>・他県にアピールになっている</li> <li>・体験機会が増えた</li> <li>・専門指導者がスキー学習の指導をするのは良い</li> <li>・指導団体をまとめる上で市が声かけをしているのは良い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資格にこだわらずボランティア指導者になってもらっている</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういう成果が出ているかを知らないという評価の判断ができない</li> <li>・成果をとらえるうえで、アンケートや経年変化は把握しているのか</li> <li>・市民に身近な区役所と一緒に計画をつくるべきではないか</li> </ul>
事業の評価：問題点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック選手の活用が少ないのではないかと</li> <li>・魅力発信、PRは十分ではない。</li> <li>・ウィンタースポーツ施設を通じたさらなる啓発が大切</li> <li>・身近な環境で雪に親しむ取組からのステップアップが大切</li> <li>・もっと雪に親しむ工夫が可能では(遊びの指標化、スポーツ化)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市よりも学校や地域でボランティア募集に取組む方が広がりが出るのはないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カーリングのPRが足りない</li> <li>・カーリング施設をもう少し増やしては</li> <li>・講習会を増やしては</li> <li>・成果の経年変化を見ていく必要がある</li> </ul>	

事業への提案：改善提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツマスターをもっと活用していく。募集の他、ボランティア保険などの支援を充実させる。(学校の授業での体験は大切！)</li> <li>・いろいろな「雪遊び」を伝え、体験の機会を増やす。遊びのルールづくりや大会の企画・実施なども行っていく。</li> </ul>
-------------	--

テーマに関連したその他の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィンタースポーツのムーブメント、ブランディングを民間会社と連携して、オール札幌で展開していく。(活性化協議会の役割強化など)</li> <li>・大きな大会の誘致で、市民のウィンタースポーツへの関心を高める。</li> <li>・雪に親しむ、雪に関わる風景を綺麗にして、活用していく。</li> <li>・冬遊び情報を充実させ、リアルタイムで発信していく。SNSを活用する。</li> <li>・スポーツマスターが将来的に地域で運営できるよう、人材育成やマッチングの仕組みができるとう良い。</li> </ul>
----------------	---

テーマに関連した協働の視点からの市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツマスターは将来的に地域で運営できるようにしたら良い。</li> </ul>
-----------------------	---



# 行政評価シート

# [6] グループ

## 施策情報

評価対象施策	ウィンタースポーツの活性化について
検討テーマ(論点)	市民がウィンタースポーツにもっと親しむ環境づくり
関連する事業名	ノルディックスキー札幌大会記念ウィンタースポーツ活性化事業、地域スポーツマスター活用事業、カーリング普及事業

## 市民参加ワークショップの意見

市民目線から見た現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者不足</li> <li>・多くの人、多世代が楽しめるウィンタースポーツの種類が不足</li> <li>・身近な施設や空間の不足</li> </ul>			
	ノルディックスキー札幌大会記念ウィンタースポーツ活性化事業	地域スポーツマスター活用事業	カーリング普及事業	その他
事業の評価：良い点	・無料体験、出前体験の組み合わせが良い	・指導資格がなくてもマスターになれるハードルの低さは良い	・遅まきながら、通年型のカーリング場を建設したことは評価できる	・体験していない事業なので評価できない。 ・施設のランニングコストが高い
事業の評価：問題点	・剰余金はいつか尽きる ・ウィンタースポーツキャラバンの予算200万円/年は少ないのではないか	・スポーツだけでなく、「遊びマスター」がいると良い	・5シートしかないカーリング場は小さい ・夏は氷の維持が高コストとなる	
事業への提案：改善提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの間口を広く捉え、冬の遊びを伝える「遊びマスター」の認定制度を創設する。</li> <li>・北欧などの冬の遊びなどを取り入れるための外国人の参加を促進する。冬に外でご飯を食べたり、ファミリーで楽しむノウハウがあり、文化の交流にもなる。</li> <li>・ノルディックだけでなく、アルペンスキーの普及・強化を促進する（指導者の育成など）。</li> </ul>			
テーマに関連したその他の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気候に恵まれた大都市のポテンシャルを活かしてほしい。大都市なので何をやっても多くの人に参加するポテンシャルがあるので、新しいことにどんどんチャレンジしてほしい。</li> <li>・学校（グラウンドや体育館）や公園（身近な公園・大通公園）などの公共施設の活用を促進する。</li> <li>・学校施設の管理を、校舎とグラウンド・体育館に分け、グラウンド・体育館については指定管理等の仕組みを活用して管理する。学校として利用しない時間帯は、指定管理者の責任において、グラウンド・体育館を地域に開放し、地域のスポーツ施設として活用する。教育委員会の保険の適用範囲と学校開放の利用団体の保険の適用範囲を検証し、開放のリスクを管理する。</li> <li>・学校施設の開放においては、日曜日などにフリー参加（グループ参加ではなく）の時間を作ること、「1人でも参加できる」「自由に参加できる」「いつでも参加できる」が可能とし、参加のハードルを下げる。</li> <li>・自衛隊のトレーニング施設や隊員の指導者としてのノウハウを活用する。</li> <li>・北大の施設の活用も推進する。</li> <li>・企業などからの予算の確保策として、企業のCSR費用ではなく、額の大きいプロモーション費用の取り込みなどを検討する。</li> <li>・行政が地域と学校の窓口となり、高齢者が小・中学校の子どもたちと冬の遊びをする機会づくりを行う。</li> <li>・冬の外出のしやすさ、身近にスポーツできる環境づくりが大切なので、雪中競歩や冬のマラソン大会など、簡単にできて、楽しめる面白い行事の開催により、冬の健康づくりのためのスポーツへの参加を促進する（大会などがあると目標になる。参加賞を設けることもモチベーションにつながる）。公道の使用はハードルが高いため、はじめはスモールスタートで公園を活用する。例えば、モエレ沼を会場に、まずかんじきレース、次に歩くスキー、ウォーキングという順に開催すると雪も踏み固められて良いのでは。</li> </ul>			
テーマに関連した協働の視点からの市民の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が地域と学校の窓口となり、地域の高齢者が小・中学校の子どもたちと冬の遊びをする。高齢者が外に出る動機づけや、学校の負担を減らすことにつながるだけでなく、子どもの成長にもつながる。</li> </ul>			